



美しい日本の花と出会えるところ  
箱根湿生花園

# 花だより 9 2017 月号

## 9月の見どころ

9月。ようやく涼しさを感じることができるようになった草原では、オミナエシやワレモコウが風になびき、秋の風情を感じます。台が岳のススキの穂も徐々にその数を増し、9月下旬には白く輝くようになります。



### サギソウ

「鷺草」(ラン科)

本州～九州の湿地に生える多年草。乱獲や湿地の開発、雑木林の荒廃などにより、絶滅が心配されています。

観察場所：サ

## 見ごろの花 8/24 現在



### レンゲショウマ 「蓮華升麻」 キンボウゲ科

名前の由来は、葉の形が升麻(サラシナショウマ)に似て、下向きに咲かせる花がハスの花を連想させるため。

観察場所：①・⑧



### オミナエシ 「女郎花」 オミナエシ科

各地の日当たりの良い山野の草地に生える多年草。秋の七草の1つとして、古くから親しまれています。

観察場所：②・⑦・植



### フシグロセンノウ 「節黒仙翁」 ナデシコ科

本州～九州の山地の林に生える多年草。名前の由来は葉のついた節のところが、黒くなるため。

観察場所：①・⑧



### コオニユリ 「小鬼百合」 ユリ科

北海道～九州の草原に自生。オニユリとよく似ていますが、葉の付け根にムカゴができないので区別できます。

観察場所：③・④・⑥・植



### シラヒゲソウ 「白髭草」 ユキノシタ科

本州～九州の山地の谷沿いの湿地に生える多年草。名前の由来は、花卉の形状を白いひげにとえたもの。

観察場所：⑧



### キレンゲショウマ 「黄蓮華升麻」 ユキノシタ科

本州(紀伊半島)、四国、九州の深山に稀に自生。森林伐採や鹿の食害などにより絶滅が心配されています。

観察場所：岩・⑧

## 見ごろの花 8/24 現在

<草の花> サギソウ コオニユリ サワギキョウ レンゲショウマ キレンゲショウマ シラヒゲソウ エゾリンドウ  
ミズトンボ ハコネギク ミソハギ カワラナデシコ ワレモコウ ヒヨドリバナ サワヒヨドリ ツリガネニンジン  
オミナエシ ナガボノシロワレモコウ ヒメトラノオ ジャコウソウ ヤマハハコ マツムシソウ キツネノボタン  
オトコエシ ナツエビネ コウホネ ベニコウホネ ネムロコウホネ ヒツジグサ ポンテデリア ほか  
<木の花> ノリウツギ コムラサキ ヤマハギ サツマハギ キンロバイ ハナツクバネウツギ タマアジサイ  
コマツナギ ムクゲ ブットレア ほか

## 9月に見ごろを迎える花



アサマフウロ

「浅間風露」 フウロソウ科



ワレモコウ

「吾亦紅」 パラ科



サワギキョウ

「沢桔梗」 キキョウ科



タムラソウ

「田村草」 キク科



マツムシソウ

「松虫草」 マツムシソウ科



サワヒヨドリ

「沢鶉」 キク科

<草の花> サクラタデ セキヤノアキチョウジ シロヨメナ ヤマトリカブト ホトトギス キイジョウロウホトトギス  
アサマフウロ ワレモコウ マツムシソウ アケボノソウ サワシロギク イワシャジン サラシナショウマ  
スズムシバナ アキギリ ツリフネソウ マアザミ サワギキョウ ほか

<木の花> ヤマハギ ツクシハギ マルバハギ サツマハギ キンロバイ コマツナギ ほか

## イベント

### 学芸員プレミアム教室

園内を当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：9月13日(水) 時間：午前10時～正午 定員：20名

### 湿原ハーモニカコンサート

複音ハーモニカによるアンサンブル演奏と独奏

開催日：平成29年9月30日(土)

時間：午前の部 11:30～ 午後の部 13:30～

演奏：厚木ひまわり 田川珠帆

## お問い合わせ

美しい日本の花と出会えるところ

箱根湿生花園

〒250-0631

神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

TEL: 0460-84-7293

開園時間：9時～17時 (入園は16時30分まで)

入園料：大人700円 小学生400円

<http://www.hakonekanko.com>

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。